

こうた 建築減災 プラン

耐震シェルター整備の施工事例の紹介（幸田町第1号）

補助金を活用して耐震シェルターを整備された人のお声を紹介します！



なぜ、耐震シェルターを設置しましたか？



改修工事は**大きな費用**がかかる事なのでなかなか決断できませんでしたが、この耐震シェルターであれば**補助金を活用**することで随分**安く出来る**ので決断しました。

また、このシェルターなら**工期が短く**、部屋の片付けや床の補強工事等を含めても約1週間で済むとのことで、業者さんへのもてなし等の負担を考え合わせると、それも決断の後押しになりました。



耐震改修と比べるとシェルターは家主さんの負担が小さく済むんだね！

【耐震改修・シェルター整備費等補助金を活用するための条件】

- ・ 昭和56年5月以前の旧耐震基準で建てられた住宅であること
 - ・ 町の無料耐震診断を受けて耐震性無しとの判定を受けた住宅であること
- 上記2点を満たすことが最低限の条件です。
※その他事業によって必要な条件もあるので、まずは役場2階都市計画課建築グループまでご相談ください。

住宅倒壊から人命を守るためのプラン 住宅や建物の耐震化率を95%とし、残る5%を減災化！

～ 耐震シェルターのすすめ ～

住まいの地震対策はお済みですか？幸田町では、ご自宅の耐震改修等に補助をしています。今回は、平成25年6月から平成26年3月にかけて「こうた建築減災プラン」と題し5回にわたり掲載したシリーズの番外編で、耐震シェルター整備に対する補助事業を紹介します。
※耐震シェルター整備に対する補助は、**高齢者または障がい者がいらっしゃる世帯が対象**です。今年は**2件を募集**します。広報こうたで紹介するためのご協力をお願いする場合があります。

自己資金約30万円で、 耐震シェルターを設置する場合の一例

(内訳はメーカーごとに異なりますので、事前の見積もりが必要です。)

シェルター購入費	250,000円
床の補強工事等	300,000円
設計・工事監理費	50,000円
町の補助金	-300,000円
計	300,000円



平成27年度

補助対象耐震シェルター一覧

No.	名称	会社名	参考価格
1	耐震シェルター「ハイルナー」	株式会社スリー・ユー	50万円
2	耐震TBシェルター「鋼耐震」	株式会社東武防災建設 (販売元：東武ボウサイ株式会社)	143万円
3	耐震シェルター「レスキュールーム」	有限会社ヤマニヤマショウ	277万円
4	木質耐震シェルター	株式会社一条工務店	25万円
5	木造軸組耐震シェルター「剛建」	有限会社宮田鉄工	38万円
6	シェル太くん工法	株式会社ヤマヒサ	186万円
7	シェルキューブ	株式会社デリス建築研究所	350万円
8	耐震シェルター「安全ボックス」	株式会社アップルホーム	98万円

* 参考価格については、条件により変わりますので正式な見積りで確認が必要です。



実際に設置してみて印象は如何ですか？

なによりも寝ている間に押しつぶされる不安から解消されたことが大きいです。
シェルターの内部もきれいで新しい部屋が一つできたような気持ちです。



安心が得られたことに加えて、新しい部屋が出来るというのは嬉しいですね！
これで夜も安心して眠れますね！

問合せ 都市計画課 建築G (内線222)